

事務局 〒028-3309紫波町日詰駅前1-10-2赤石公民館内 tel 019-676-3999 会長 高橋敬明 tel 090-3125-3776

— 岩手県立博物館テーマ展『比爪-もう一つの平泉-』パンフレット14頁 —

### 3 比爪-奥州藤原氏第二の拠点- ③ 外縁遺跡

#### 《弥勒地経塚(紫波町土館字弥勒地)(2)》

常滑産広口壺片は同一個体片と推測され、時期は12世紀前半に位置付けられます。常滑産三筋壺片は体部上半部の破片で、時期は、12世紀後半に位置付けられます。陶磁器の年代は塚の造営年代を示します。北上川流域での先行調査事例との比較と、陶磁器の主体年代から、塚は、12世紀代に造営された「経塚」、と評価できます。また、古瀬戸瓶子片は体部上半部の破片で、時期は13世紀後半に位置付けられます。13世紀代の古瀬戸瓶子の出土は、12世紀に造営された経塚に対して「吉縁」を求めての納骨、供献に伴うものと推測されます。

## 《《《 7～8月行事予定のお知らせ 》》》

7月19日 (水曜日)	83 第82回 月例発表会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：宇部真澄(三島黎子) テーマ：平泉の母たち 発表者：金濱興一 テーマ：ひづめ2
7月30日 (日曜日)	赤石公民館比爪館入門講座 はじめての 比爪館さんぽ ②  〔協力事業〕	集合時刻 午前9時(終了予定：正午) 集合場所 紫波町南日詰 箱清水公民館 実地見学 五郎沼一周(経塚跡、石卒都婆群他) 参加費 100円(保険料他) ※ 詳細は赤石公民館676-3999へ
8月16日 (水曜日)	84 第83回 月例発表会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：金濱興一 テーマ：ひづめ3 発表者：平井和夫 テーマ：吾妻鏡と奥州平泉9

### ◇◇◇◇◇ 第17回定期講演会は講師内城弘隆氏の熱弁で大いに盛り上がる ◇◇◇◇◇

6月11日(日)に開催した第18回定期講演会は、講師の内城弘隆さんが「樋爪氏は生きている」から「南北朝と斯波氏の時代」まで8項目にわたって講演され、会場は熱気に溢れました。



比爪館跡 第30次発掘調査報告書 <紫波町教育委員会(平成25年3月発行)>

【比爪館遺跡 第30次発掘調査(2)】 ～抜粋～

3 調査の成果 —(2)中世の遺構・(3)出土遺物(省略)—

(4) 調査のまとめ(前号に続く)

【溝跡】

溝跡1条を検出した。土塁状マウンドの南辺下の法り面を切って構築され、囲むように曲がり途中で切れている。また、埋土中にかかわらけ小片が混入し前述土塁状マウンドを切っている事から、溝跡の方が新しい。

【土塁状遺構トレンチ】

北側の土塁状遺構のトレンチ掘り4本は、現代の表土を除去し、遺構の形状を知るために精査を実施した。トレンチの表土直下から土器が多く出土したため、この部分だけを少し掘り下げた。その結果すべてがかかわらけであった。今回のトレンチ調査では東西から馬の背の型で盛り上がり、南北に伸びる形状になっていることがわかった。



SD-051 溝跡 断面(東から)



SX-014 土塁状マウンド トレンチ南面 断面

会員投稿 ○○○○○○○○○

6月11日の講演会に参加させていただきました。受け付けで貰った36頁の資料に、まずはビックリ！開始までの間、急いで目を通し、改めて内城先生のパワーに感嘆・敬服。この資料だけでも本日の大収穫？の思いになりました。

講演の冒頭。樋爪氏は生きていて関わって、前沢町史や前沢の文化財からの引用が参考になりました。

私たちも、宇都宮氏や浜野弾正に関する文献調査や、鎌倉幕府と足利一族の歴史について学ぶことによりこの地の中世初頭の姿が浮かんでくるのだということを痛感しました。

内城先生の、熱意あふれるご講演本当に、ありがとうございました。

平成29年度第1回運営委員会 29.6.1

【報告事項】

- 1 赤石公民館「比爪館入門講座」開催の協力
- 2 樋爪館関係資料集第6号の無償配布

【協議事項】

- 1 総会で委任された会則の一部改正
- 2 平成29年度事業計画の実施
  - (1) 月例発表会の開催
  - (2) 第18回定期講演会の役割り分担
  - (3) 樋爪館遺跡道案内人の活動
  - (4) 樋爪館関係資料集第7号の編集・発行
  - (5) 会報「ひづめだて」の発行
  - (6) 会員研修旅行の実施
  - (7) 協力事業「比爪館入門講座」の開催
  - (8) 第19回定期講演会の期日、講師等
- 3 創立10周年記念事業検討委員会の設置
- 4 会長印作製・書棚購入(予備費流用)